

# コロナ禍のなか、地震や風水害が起きたら…!?

## 家が住めない状態なら、迷わず避難しましょう!!

- ・でも、まず避難する場所を確認してください。避難所(学校)だけが避難する場所ではありません。事前の了解が得られるなら【親戚や友人宅】でもいいのです。夏は暑さ対策も課題。開設されても、避難所は「三密」を避けることが難しい場所です。
- ・新型コロナウイルス対策としては、人が歩くと床のウイルスが舞い上がるので、30cm以上の高さを確保できる段ボールベッドがほしいのですが、避難所の倉庫には現時点ではありません。自分で用意するしかありません（自分で作れます）。
- ・**マスク、消毒用アルコール、体温計**も各自で持参。消毒用アルコールは、人にうつさないためにも頻繁に使います。トイレの前後、ドアノブ、手すりに触る前後など。
- ・体育館では、人と距離をとるため2m以上離れて座ります。
- ・間仕切り用の段ボールもほしいのですが、備蓄はありません。
- ・避難所運営は、避難した住民たち自身で行います。**事前の知識**が必要です。
- ・以下は**参考になる資料**です。検索してみてください。家族(大事な人)を思い、もしもに備えましょう。何の心構えも備えもなしには、避難所に行きにくいですね。

### ① NPO 法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク「避難生活お役立ちサポートブック」

※ 手作りフェイスシールドの作り方、手作り感染予防着（ガウン）の作り方も載っています

（家族が感染して、自宅で待機になったときなどにも役立ちます）

### ② 人と防災未来センター「避難所開設での感染を防ぐための事前準備 チェックリスト Ver.2」

「簡易版」と「手引き版」があります。

下戸塚町会長 新井雅夫

自主防災部長 坂本 満